

児童発達支援 事業所における自己評価結果（公表）

公表： 2024年 2月 15日

事業所名 こどもサポート教室「きらり」近江八幡駅前校

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	5	0	衝立を利用するなどして、運動やイベントの際にはスペースを広げて行った。	
	②	職員の配置数は適切である	3	2	指導員の人数が一人少ないが、時間変更やヘルプをお願いしながら取り組んでいる。	指導員の休み（公休・有休）が調整できないことがあり、困っている。また、ヘルプにて対応はしているが、利用者様にとって余り面識のない指導員に対して不安が残るため、1名指導員を増やして指導員も利用者様も安心できる環境づくりが必要である。
	③	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	4	1		わかりにくい部分がある。
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	4	1	毎日掃除をしている。	
業務改善	⑤	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	2	3		一部の職員に偏っていることがあるため、全職員で行えるように工夫を行っていく。
	⑥	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	3	2		評価の統計を管理者後の結果について周知ができていない部分があり、改善へ繋げることができていない部分がある。
	⑦	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	2	3		定期的に評価・公表ができていないため、事業所評価の公開だけで終わらず、都度保護者様のニーズにあった対応を出来るようにしていく。
	⑧	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	0	5		外部評価としては行えていないため、相談支援事業所へ依頼してみるなど工夫が必要。
	⑨	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	5	0	1回/月以上研修に参加している。	
適切な支援	⑩	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	5	0		
	⑪	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	3	2		

の提供	⑫	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	3	2		
	⑬	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	5	0		
	⑭	活動プログラムの立案をチームで行っている	3	2	個別支援の中でもペア活動や関わりを設けている。	
	⑮	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	4	1		
	⑯	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成している	5	0		
	⑰	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	2	3		
	⑱	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	2	3		
	⑲	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	5	0		
関係機関や保護者との連携	⑳	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	5	0		
	㉑	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	3	2		サービス担当者会議の開催そのものが少ないため、情報共有を密にし必要に応じて開催をお願いする。
	㉒	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	3	2		
	㉓	（医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合） 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	1	4		
	㉔	（医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合） 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	1	4		保護者様から薬の情報をお聞きすることはあるが、主治医との連携はできていない。
	㉕	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校（幼稚部）等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	0	5		
	㉖	移行支援として、小学校や特別支援学校（小学部）との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	2	3	利用者様全員ではないが行っている。	

	⑳	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	3	2		
	㉑	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	2	3	子育て広場をお借りしてのイベントや教室開放などを行い、外部からのイベントに参加される児童が少し始まった。	
	㉒	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	0	5	事業所連絡協議会への参加はしている。	
	㉓	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	5	0		
	㉔	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	2	3		弱い部分がある。
保護者への説明責任等	㉕	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	5	0	児発管が主に行っている	
	㉖	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	4	1	児発管が主に行っている	
	㉗	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	5	0		
	㉘	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	4	1	2023年12月より「きらりカフェ」と称して保護者様同士が悩みの共有等を行える場所を設定した。	設定した日に参加される方がまだ一人もおられないため、周知活動を行っていく。
	㉙	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	5	0		
	㉚	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	3	2	ラインを中心に発信している。	
	㉛	個人情報の取扱いに十分注意している	5	0		
	㉜	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	5	0		
	㉝	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	3	2	チラシを配布し、外部からのイベント参加希望もあった。	何度も伝えたが、地域と関わりを持つ動きが無かった。

非常時等の対応	④①	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	4	1		対応マニュアルを作成し保護者様の見える場所へ提示し周知を行っている。
	④②	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	4	1	実施できていない事もあったが、再開している。	
	④③	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	5	0	保護者様より個人的に確認を行っている。	面談時やアセスメントシートを作成する際などに確認を行っている。
	④④	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	1	4		
	④⑤	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	4	1	ブロック内の共有スペースにて周知を行っている。	
	④⑥	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	4	1		
	④⑦	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	3	2		

○この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。

児童発達支援 保護者等からの事業所評価の集計結果（公表）

公表：2024年 2月 15日

事業所名：こどもサポート教室「きらり」近江八幡駅前 校 保護者等数（児童数）：5 回収数：4 割合：80%

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	①	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	4					
	②	職員の配置数や専門性は適切であるか	4					
	③	生活空間は、本人にわかりやすい構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	4					
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境となっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	4					
適切な支援の提供	⑤	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画が作成されているか	4					
	⑥	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	4					
	⑦	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	4					
	⑧	活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか	4					
	⑨	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	4					
保護者への説明等	⑩	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	4					
	⑪	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされたか	4					
	⑫	保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）が行われているか	4					

	⑬	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	4					
	⑭	定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	4					
	⑮	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	4					
	⑯	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	4					
	⑰	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	4					
	⑱	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	4					
	⑲	個人情報の取扱いに十分注意されているか	3			1		⇒契約時にしか伝えていないため、再度取り扱いについて周知していく。
非常時等の対応	⑳	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか	3			1		⇒マニュアルを保護者様の目につくところへ設置するなどして周知をしていく。
	㉑	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	3			1		⇒ 訓練の日や参加への告知を行うなどして周知をしていく。
満足度	㉒	子どもは通所を楽しみにしているか	4					
	㉓	事業所の支援に満足しているか	4					

○この「保護者等からの事業所評価の集計結果（公表）」は、保護者等の皆様に「保護者等向け児童発達支援評価表」により事業所の評価を行っていただき、その結果を集計したものです。